

坂下南・東幼稚園 お楽しみ会



町内の保育所・幼稚園・小学校・中学校から、子どもたちの学校での様子をお伝えします！

12月17日、坂下南・東幼稚園でお楽しみ会が開催され、サンタクロースがやってきました！

坂下南幼稚園では、各クラスで作成したキラキラの三角帽子をかぶり、サンタさんへ願いを込めてクラスみんなで、「あわてんぼうのサンタクロース」を歌いました。その後、先生たちによるベルを使った「キラキラ星」の演奏が行われ、園児たちからは、「先生がんばって！上手！上手！」などの声援があり思わず笑ってしまう場面もありました。

サンタさんがやってくると、園児たちは大喜び！歓声を上げて駆け寄りました。各クラスから色々な質問があり、「どこから来たんですか？トナカイはいないの？」等の質問にサンタさんが答え、園児たちは興味津々な顔で聞いていました。



坂下東幼稚園では、みんなで「あわてんぼうのサンタクロース」を歌った後に、木の実シアターさんから音楽に合わせて一緒に踊る遊びやクリスマスにちなんだ紙人形劇のプレゼントがありました。園児たちは楽しく周りの友達と声かけをしながら参加しニコニコ顔でした。

サンタさんが登場すると園児たちは、目を輝かせ元気よくあいさつし、各クラスからは「サンタさんはどうやってきたんですか？なんで白いヒゲなんですか？サンタさんはたくさんいるんですか？」等の質問があり、英語で話したサンタさんの言葉を通訳してもらいました。サンタさんからカルタやすごろく等のプレゼントが手渡されると、うれしそうな表情で園児ひとりひとりがお礼を言いました。

今月号の「道の駅インタビューコーナー」は、湯川村勝常地区の長谷川美佳さん、会津坂下町子育てサークル「でんでん虫」からお話を聞きました。子どもを持つ女性、また消費者の視点から、道の駅に期待することなどについてご意見をいただきました。



長谷川美佳さん

○交流促進施設の会議室は、屋内遊び場として開放することも検討しています。そこにはどんな機能があればうれしいですか。

長谷川…家の中に置けないような大きなブロックがあるといいですね。うちの子の場合、木製のおもちゃがある遊び場に行くと、木の香りや肌触りがいいの、落ち着いて遊んでいるんです。でも私はどちらかというと子ども達には外で遊んでもらいたいと思っていて、すべり台やブランコがあるとうれしいです。昔のことですが母と一緒に自宅から歩いて阿賀川に行った思い出があるので、私も子どもと一緒に散歩しながら道の駅へ遊びに行ってみたいです。

○道の駅でどんな催し・イベントがあれば、子どもと一緒に行ってみたいと思いますか。

長谷川…芝生の広い場所を生かした移動動物園のようなイベントがあれば、子どもでも動物に触れ合う体験ができておもしろいかなと思います。

ウサギやヤギは子どもも喜びますよね。また夏はバーベキュー、秋には芋煮会など、器具の貸出と食材も準備してもらえれば手ぶらで行っても大丈夫ですよ。

○道の駅のレストランや飲食ショップには、どんなことをお願いしたいですか。

長谷川…メニュー表にカロリーや栄養成分がしっかり表示されていると、安心して子どもにも食べさせられると思います。特にアレルギー表示はお願いしたいと思います。子どもと一緒に外で遊んで食事もできる施設なので、滞在時間が長くなりそうです。

○道の駅協議会では、特産品開発にも力を入れていて、地元農産物を使った商品をつくっています。

長谷川…湯川村では保健師さんや栄養士さんの指導もあって、添加物の入っていない物を子どもには食べさせたいと思っています。お母さんがたくさんいます。ぜひ体に優しい商品をつくってもらいたいですね。

○整備される「道の駅」は、どんな施設になって欲しいですか。

長谷川…お店の中の雰囲気明るく、会津弁でかまわないのでスタッフみんなが感じ良く親しみやすい接客だと「また行きたいな」と思います。また、地元にある施設なので、多くのお客様でにぎわってほしいと思います。近くの方は子どもたちと遊べる場所として、遠くから訪れる方は地域の情報発信基地として利用していただけたらうれしいですね。



「でんでん虫」の皆さん

○でんでん虫さんでは、定期的に活動されていると聞いています。どんな内容ですか。

◆私たちが子育てサークル「でんでん虫」は、毎週水曜日活動しています。会員は11家族で、幼稚園入園前の15人の子どもたちと季節毎にイベントを自分たちで考え、楽しく活動しています。また、私たちと一緒に活動できる小さなお子さんのいるご家族の方を随時募集しています。

○交流促進施設の会議室は、屋内遊び場として開放することも検討しています。そこにはどんな機能があればうれしいですか。

◆屋内です。木製のおもちゃや体を使って遊ぶ遊具があれば、子どもたちも喜ぶと思います。あと特に冬期間の日曜日は屋内で遊べる公共施設が少ないので、会議室を開放していただければ、子どもと一緒に利用したいです。

また給湯室があると親もお茶を飲みながらくつろげそうです。

○トイレ情報休憩棟にも畳敷きの小上がりがありますので、ぜひ利用してください。さて、道の駅でどんな催し・イベントがあれば行ってみたいと思いますか。

◆例えば、屋内だったら料理教室や図画工作の教室、絵本の読み聞かせなど、屋外では魚のつかみ取り、バーベキューや芋煮会、雪がある季節はソリ遊びなど、あと動物に触れられる場所や、道の駅スタートのウォークラリーもいいと思います。

○道の駅のレストランや飲食ショップには、どんなメニューがあればうれしいですか。

◆小さな子どもは量が食べられないので、子ども向けの食事は安く提供してほしいですね。あと会津坂下町、湯川村はお米がおいしいので、子どもでも食べやすい、いろんな種類のおにぎりや、おいしい水も販売してほしいです。味いのかき氷も販売してほしいです。特産品の馬肉イベントもいいと思います。

○最後に、整備される「道の駅」は、どんな施設になって欲しいですか。

◆どんなお店でも、スタッフの対応が親切だとまた行ってみたいと思う重要なポイントなので、お店もスタッフも明るく、清潔な雰囲気が大切だと思います。またゆっくりくつろげるお店づくりや広報などを通して道の駅からの情報をどんどん発信してください。

「古墳時代へ」

「会津坂下町郷土学習副読本」
坂下学のすすめ」から

土器と埴輪から
会津坂下町

には約六十基以上の古墳があります。本格的な調査から、杵ガ森古墳（新富町）が今のところ会津地方では最古級段階の前方後円墳であること、また、亀ヶ森古墳（青津）が埴輪の発見などから、四世紀に遡る古墳であることが明らかになっていきます。古墳時代は凡そ三世紀から七世紀の時代を指します。



杵ガ森古墳（新富町）



土器：高杯（杵ガ森古墳出土）



土器：壺（杵ガ森古墳出土）

これらに限らず当時の古墳から出土した土器には北陸系のもの、他、隣接各方面の影響を受けたものがあり、こ

のことから当時の会津坂下町は、文化圏の交差する地点であったことがわかります。また、畿内系の古墳をつくるような豪族が肥沃な土地を求めて、この会津盆地を目指して来たとも推測されるので



埴輪（経塚古墳出土 塔寺）

一方、町内の古墳から出土する埴輪については、関東方面や中通り・浜通り方面との交流に着目する見方があります。何といても、大小の川が流れる会津盆地は稲作に適した土地であるということが、当時の大和政権の勢力や他地方の人々を引き寄せる大きな魅力の一つであったと思われる。

古墳時代の集落

津尻集落の北側に古墳時代の「中平遺跡」があります。凡そ五、六世紀に当たります。阿賀川が洪水で堰き止められたため、当時の集落は水没し、後世に遺跡として厚い砂の層に覆われた状態で発見されたのです。竪穴住居には雨水が入らないように周りを高くする周堤帯がありました。また、土屋根を葺いた竪穴住居であった可能性が高く、古くなった住居は倉庫に使用された形跡がうかがえます。

さらに、鍛冶工房跡や多くの編物石

が発見されたことで、武器・農具など鉄器の製造や織物製作を行っていたことがわかったのです。特に、鉄器の製造は当時の先進技術です。その鍛冶職人は、関東・甲信地方から移住して来たと考えられています。カマドや土器に同地方の特徴が見られるとの見解からです。当時の人々は、サケ、コイ、ウグイ、鹿、猪などを食べていたことが、カマド内に残った骨からわかりました。

また、当時の人々の精神生活がうかがえる祭祀跡も発見されています。土器に何かを入れて供え、模造品の玉を辺りにまいて神事を行っていたようです。

ところで、天候は今でも稲作にとって重要な要素です。天気予報など不可能な時代にあっても、明日の天気や災害の予測に必要な様々な努力をしたことと思われれます。その一つが祭祀による祈りだったのかもしれない。

この「中平遺跡」を概観すると、武器・農具や織物製作の職人達が住み、祭祀を行う集落であったと考えられます。これらの職人達は、前の居住地で得た様々な知識や情報を活用して、集落での生活を豊かにしたと思われるのです。

仏教の伝来

伝承では、会津地方に仏教が伝わったのは、この古墳時代の六世紀中頃と言われています。伝えたのは当時の中国の僧青岩とされています。阿賀野川の上流を目指し会津入りしたと推測

されます。一つの見方として、青岩は当時の中央政府の情報を基に、肥沃な土地で異文化の受容に寛大な土地を求めて、高寺山に草庵を結び、布教活動をしたとも考えられます。

この高寺山（標高四百一メートル）は近くの山と比較して一番高く、今の会津坂下町を一望に見渡せます。

青岩も、稲作地帯に豪族の古墳があるのを見たことでしょうか。豪族を中心に各集落がまとまっていたことは、布教にも多いに役立ったことと推測されます。その豪族は、中央政府から派遣されたか、政府に協力的な地元的人物で、仏教に理解を示したと思われる。一方、仏教に接した当時の人々は、大変な驚きを抱いたのではないのでしょうか。

しかし、人と物の交流地点である当時の会津坂下町では、仏教も拒絶から受容へと変遷を辿り、次の時代の文化の柱となっていくと考えられます。青岩がいた仏教という種が実っていく素地が、様々な交流で育まれていたと考えられるのです。



川西地区方面から望む

ばんげの **味** が育てる **おいしい楽しい健やかライフ** その49



「早ね、早起き、朝ごはん」の合言葉で食育に取り組んでいます！

今月は東小学校の食育学習の様子をご紹介します。

朝ごはんについて



町給食センター主催の「わたしがつくる朝ごはんコンテスト」へ25点の応募をしました。
上学年の部の第二次審査に進んだ2人の作品と二次審査会（調理実習）の様子をご紹介します。
また、児童会給食委員会から、朝ごはん啓発ポスターを作成し、学習発表会に合わせ、掲示しました。

優秀賞: モーニング夏のハッピー

入賞: カラフル 朝ごはん



4年2組
桑原 希さん



5年3組
千代 拓夢さん

収穫活動



一生懸命に作業をし、収穫の喜びを味わいました。
支援学級（はばたき学級）では芋掘り、
5年生では稲刈りの収穫作業を行ないました。



給食時間について

1年生も上手に準備ができるようになりました!!



☆ 1月19日は食イクの日・家庭料理の日です ☆



中央公民館 図書室だより Vol.43

中央公民館図書室 TEL 83-3010 (定休日:毎月第2火曜日)



新しい年のスタートです！

図書室では、今年も多くの皆様のご利用をおまちしています。

☆ 今月のおすすめ本 ☆

今年の大河ドラマは『軍師官兵衛』。信長、秀吉、家康の三英傑に重用されながらも、あり余る才能ゆえに警戒され、秀吉には自分の次の天下人とまで恐れられた男、黒田官兵衛とはどのような人物だったのかわかる、おすすめの本をご紹介します。

小説	黒田如水 (新潮社文庫)
	吉川英治 著 新潮社
播州御着城城主・小寺政職の家老・黒田官兵衛は、織田信長と盟を結ぶため、岐阜へ赴き、秀吉の知遇を得る。天下無双の軍師官兵衛の半生を描く歴史小説。	

小説	播磨灘物語；上・中・下
	司馬遼太郎 著 講談社
「町角で別れたあとも余韻ののこる感じの存在である。友人にもつなら、こういう男を持ちたい。」と、あとがきで官兵衛をそう評する司馬遼太郎が描き上げた黒田官兵衛像とは。	

☆ 新着本の紹介 ☆

分類	本のタイトル	著者名	出版社
人物	ゼロ	堀江貴文 著	ダイヤモンド社
小説	疾風ロンド (実業之日本社文庫)	東野圭吾 著	実業之日本社
小説	なぎさ	山本文緒 著	角川書店
随筆	ヒトに問う	倉本聰 著	双葉社
郷土	武者たちの舞台；下	福島民報社 編	福島民報社
物語	鏡の中の秘密の池 (シノダ！)	富安陽子 作	偕成社

このほかにも新着本がまだまだあります。
ぜひ、図書室へお越し下さい。

☆ 新着本おすすめの1冊 ☆

小説	はなとゆめ
	冲方丁 著 角川書店
帝の後・中宮定子に仕えることになった清少納言の生涯を、華やかな平安文化と権力争いを背景に描いた小説です。	

○ ブックスタート実施のお知らせ

1月21日(火)に、10か月児健診のお子さんを対象に絵本を手渡す『ブックスタート』を行います。

場所：健康管理センター
時間：10か月児健診時



図書室にも、赤ちゃん対象の絵本がたくさんありますので、ご利用ください。